



外国出張報告書

平成 27 年 8 月 31 日

1. 出張国名 エチオピア
2. 出張月 平成 27 年 7 月～8 月
3. 出張目的 エチオピア北部のため池等の利用における現状把握と課題抽出 (FS 調査) : D
緑肥導入の効果及びコスト算定等に関する調査 (気候変動対応) : A
4. 成果の概要

【FS 調査】

エチオピア及びティグライ州において、ため池を含む灌漑施設における用水利用と施設維持管理に関する調査を行い、堆砂及び漏水に起因した貯水量の減少が受益者の減少、灌漑施設の維持管理を担う住民組織の縮小を引き起こしている事例を確認した。また水資源管理に関し、灌漑利用組合 (WUA) の設立と WUA によるため池、灌漑施設の維持管理能力の強化を、国及び州レベルにおける法制化により進めつつある事を確認した。このような現状のもと、ため池の有効利用を含む FS 調査構想に関し関係機関から賛同と協力への意向が伝えられているものの、今後関連するデータ及び先行研究について収集が必要な状況にある。

【気候変動対応】

緑肥の鋤き込みを行った試験圃場におけるコムギ等の生育状況の確認を行うと共に、モニタリング、収量調査の実施計画を作成した。また緑肥導入時の追加的コストとなる耕起、播種作業について聞き取り調査を行った。